

「認プロ第2回シンポジウムー認知症診療のピットフォールと最近の進歩ー」を開催

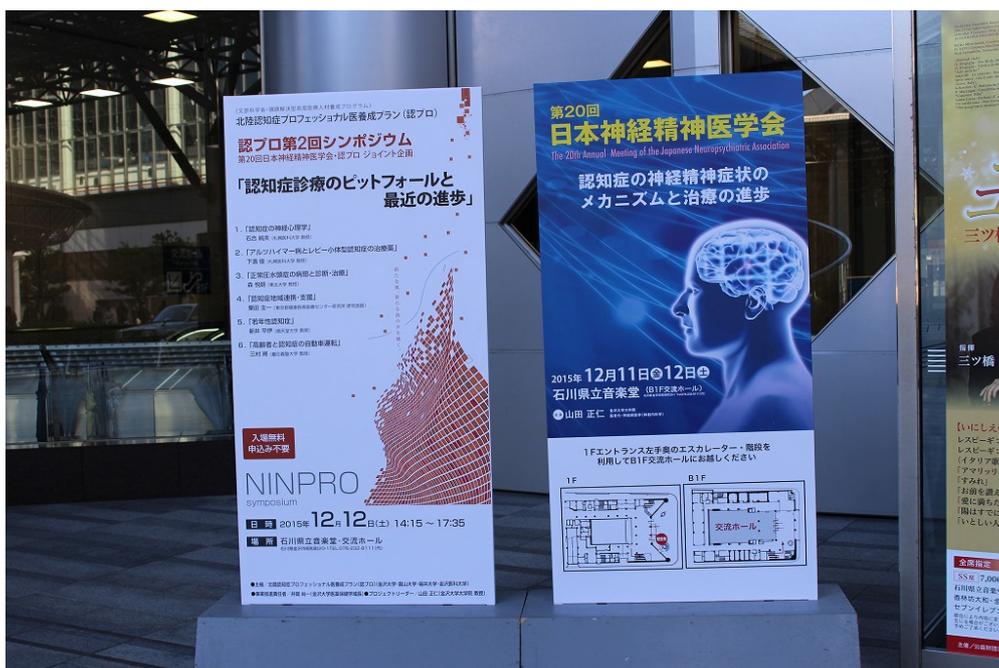
2015年12月12日

12月12日（土）、石川県立音楽堂・交流ホールにおいて、「第20回日本神経精神医学会」とのジョイント企画として『認知症診療のピットフォールと最近の進歩』をテーマに北陸認知症プロフェッショナル医養成プラン「認プロ第2回シンポジウム」を開催しました。

今回のシンポジウムでは、認知症診療の第一線でご活躍されている著名な先生方6名に認知症の診断から、認知症の人の自動車運転問題に至るまで、診療で問題となるポイントをご講演いただきました。

シンポジウムには、医師や研究者をはじめメディカルスタッフ、学生、一般の方も含め約150名の参加がありました。講演中は熱心に聞き入りメモをとる姿も数多く見受けられ、質疑応答では活発に意見交換がありました。

このシンポジウムは認知症医療に携わる者にとって、また、認プロプロジェクトを推進する上でも大変有意義な機会となりました。



会場玄関の様子



開会挨拶：認プロ 事業推進責任者

井関 尚一 医薬保健学域長



講演：認知症の神経心理学
札幌医科大学 石合 純夫 教授



講演：アルツハイマー病とレビー小体型認知症の治療薬
札幌医科大学 下濱 俊 教授



講演：正常圧水頭症の病態と診断・治療
東北大学 森 悦朗 教授



講演：認知症地域連携・支援
東京都健康長寿医療センター研究所 粟田 主一 研究部長



講演：若年性認知症
順天堂大学 新井 平伊 教授



講演：高齢者と認知症の自動車運転
慶應義塾大学 三村 将 教授



閉会挨拶：認プロ プロジェクトリーダー

大学院医薬保健学総合研究科 脳老化・神経病態学 山田 正仁 教授



シンポジウム会場全体の様子

《文部科学省・課題解決型高度医療人材養成プログラム》

北陸認知症プロフェッショナル医養成プラン(認プロ) シンポジウム

第20回日本神経精神医学会・認プロ ジョイント企画

「認知症診療のピットフォールと 最近の進歩」

日時 2015年12月12日(土) 午後(第20回日本神経精神医学会終了後)

場所 石川県立音楽堂・交流ホール
石川県金沢市昭和町20-1 TEL.076-232-8111(代)

1. 「認知症の神経心理学」
石合 純夫 (札幌医科大学 教授)
2. 「アルツハイマー病とレビー小体型認知症の治療薬」
下濱 俊 (札幌医科大学 教授)
3. 「正常圧水頭症の病態と診断・治療」
森 悦朗 (東北大学 教授)
4. 「認知症地域連携・支援」
栗田 圭一 (東京都健康長寿医療センター研究所 研究部長)
5. 「若年性認知症」
新井 平伊 (順天堂大学 教授)
6. 「高齢者と認知症の自動車運転」
三村 将 (慶応義塾大学 教授)

新たな風、新たな波の声を聴く。

詳細・最新情報は
認プロホームページをご覧ください。
〈URL〉 <http://ninpro.jp/>

入場無料
申込み不要

●お問合せ先/北陸認プロ運営事務局
担当:池田篤平、牧野敏雄、宮岸由貴
〒920-8640 金沢市宝町13番1号
TEL:076-265-2149 FAX:076-234-4208
E-mail:ninpro@adm.kanazawa-u.ac.jp

NINPRO
symposium

プログラム

14:15～14:20 開会挨拶 井関 尚一 金沢大学医薬保健学域長
認プロ 事業推進責任者

14:20～14:50 1.認知症の神経心理学 座長:松井 真(金沢医科大学)
石合 純夫 札幌医科大学医学部リハビリテーション医学講座 教授

14:50～15:20 2.アルツハイマー病とレビー小体型認知症の治療薬 座長:森本 茂人(金沢医科大学)
下濱 俊 札幌医科大学医学部神経内科学講座 教授

15:20～15:50 3.正常圧水頭症の病態と診断・治療 座長:濱野 忠則(福井大学)
森 悦朗 東北大学大学院医学系研究科高次脳機能障害学 教授

15:50～16:00 休憩

16:00～16:30 4.認知症地域連携・支援 座長:北村 立(石川県立高松病院)
栗田 主一 東京都健康長寿医療センター研究所 研究部長

16:30～17:00 5.若年性認知症 座長:和田 有司(福井大学)
新井 平伊 順天堂大学大学院医学研究科精神・行動科学 教授

17:00～17:30 6.高齢者と認知症の自動車運転 座長:三邊 義雄(金沢大学)
三村 将 慶應義塾大学医学部精神神経科学教室 教授

17:30～17:35 閉会挨拶 山田 正仁 金沢大学大学院脳老化・神経病態学(神経内科学)教授
認プロ プロジェクトリーダー